

鳥居平区自治会が

「コミュニティ助成事業」を活用されました

鳥居平区自治会がコミュニティ助成事業（宝くじ助成）を活用し、会議所に雅楽楽器等のコミュニティ備品を整備されました。

この事業は、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するとともに、宝くじの普及広報を目的として、（一財）自治総合センターが実施しているものです。

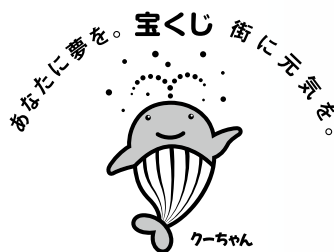
この整備によって、地域の皆さんがより集いやすくなり、一層のコミュニティ活動の充実が期待されます。



▲雅楽楽器（鳳笙）



▲移動式ピザ窯



◆問い合わせ先 企画振興課 企画人権担当 ☎0748-5216552

青雲之志

～町長コラム～

日野町長 堀江 和博

さる3月26

日、令和3年

日野町議会第

2回定例会が

閉会しました。

今議会には私

にとつて初め

てとなる当初

予算を提案し、可決・承認をい

ただきました。令和3年度一般

会計予算は次の2点を目玉に

しており、1点目は「新型コロ

ナウイルス対策」、2点目は「町

の未来への投資」です。コロナ

禍による税収減により、予算編

成は厳しいものとなりましたが、

先送りできない課題ととらえ予

算化いたしました。

1点目の「新型コロナウイル

ス対策」ですが、まず医療現

場で尽力いただいている「医療

機関への支援」、厳しい経済状

況にある「町内料理飲食店への

支援」を町独自に行います。加

えて、人との繋がりが低下して

いることに對し、地域活動・多

世代交流を促進する事業に取

り組む自治会・団体等への補助、

町内商店のポイントカードの非

接触型への移行などにも取り組
みます。

2点目の「町の未来への投資」

については、公共交通活性化に

向けた「公共交通の実態調査」、

行政デジタル化に向けた「政

策参与の配置」、若者の声を取

り入れるための「若者会議の開

催」、空き家活用促進のための

「リフォーム助成の拡充」、中山

間地農業を支援する「中山間

直払補助金の開始」、障がい

をお持ちの方に関する「相談拠点

の設置」や「ひきこもりサポー

ト」事業にも取り組みます。

そしてこの4月から、町のこ

の先10年の方向性を定めた第

6次日野町総合計画がスタート

します。住民の皆様や懇話会委

員の皆様にも熱心にご議論いた

だき策定した将来像は「時代の

変化に對応し、誰もが輝き

ともに創るまち「日野」です。

コロナ禍や人口減少など時代の

変化があっても、先人の想いを

しっかりと受け継ぎ、持続可能

な日野町をめざし、誠心誠意取

り組んでまいりたいと思います。

温故知新

企画展開催のお知らせ

近江日野商人ふるさと館「旧山中正吉邸」では、企画展「幕末・維新期の疫病と日野」を開催しています。ぜひお越しください。

期 間 4月25日(日)まで
行 事 4月18日(日) 午後2時から
ギャラリートーク(先着10名)
休館日 月曜、火曜

問合せ ☎0748-5210008

という習俗が各地で行われました。

ふるさと館で疫病をテーマにした企画展を開催中

これら疫病に対し、日野の人々がどのように向き合い、命や健康を守ろうとしてきたのでしょうか。

近江日野商人ふるさと館「旧山中正吉邸」では、幕末・維新期に流行した疫病をテーマにした企画展を4月25日(日)まで開催中です。疫病の特徴や対処法、疫病をめぐる習俗について紹介しています。

また、江戸時代末期に日野で初めて種痘を行い、天然痘の撲滅に大きな功績を残した蘭方医・賀来寿平(春齋)ゆかりの資料についても紹介しています。ぜひお越しください。

疫病と疫神信仰

現在コロナ禍により私たちは不由な暮らしを余儀なくされていますが、古来より、日本では疱瘡(天然痘)・麻疹・コレラなどの感染症が頻繁に流行し、多くの命を奪い、人々を苦しめてきました。

先人はこれら感染症のことを「疫病」と呼び、疫病がもたらされるのは「疫神」「疫病神」などと称される悪神の怒りや祟りであると信じられてきました。

奈良時代の記録には、「旧暦の三月になると疫神が分散して疫病を流行させる」と記されており、日野のホイノボリのルーツもここにあると考えられています。

中世に入ると疫神は「赤い衣を着し青白い顔をした白髪の老人や奇怪な老婆」であると考えられ、彼らがどこからともなく現れて疫病をも

疫神を防ぐ・まつる

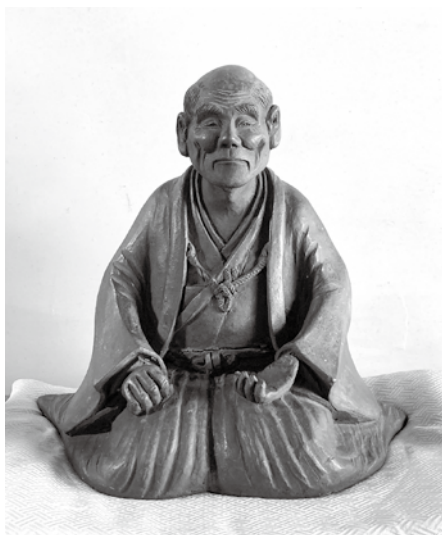
このため、疫病を封じるために人びとが考えた方法は、疫神が町・村や家などの生活空間に入ることを防ぐための儀礼を行うことでした。

村はずれの道に掛けられる勧請縄は、村に疫病や災厄が侵入することを防ぐための典型的な儀礼で、日野町内においても大字西明寺で見ることができ、また、家の門口に神社の札や呪符を掲げる習俗も広く行われました。

疫病を封じる



疱瘡送りの習俗(協力:古道幸男さん・紀美子さん)



賀来寿平翁尊像(賀来文子さん提供)